



Title	関西在住中国人留学生が接触する方言
Author(s)	殷, 琦
Citation	阪大社会言語学研究ノート. 2023, 19, p. 134-145
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/92437
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

関西在住中国人留学生が接触する方言

殷 琦

【要旨】

本稿の目的は関西における中国人留学生が認識している関西方言及びその特徴を明らかにすることである。関西にある大学に在学している中国人留学生28名を対象に、彼ら・彼女らの知っている関西方言、その関西方言の意味及びそれを知ったきっかけに対してアンケート調査を行った。中国人留学生と関西方言の接触場面、関西方言と認識されている表現の特徴、関西方言の理解度という三つの面から分析した。分析した結果、以下の2点を指摘した。(1) 関西に在住する中国人留学生は主に大学、テレビ番組、店、アルバイト先の場面で関西方言に接触している。(2) 中国人留学生にとって認識度が高い関西方言には「おおきに」、「ほんま」、「へん」、「あかん」、「ちゃう」、「ねん」等がある。また、留学生は自身が接触している方言に対してその意味を全部正しく捉えているわけではない。特に特定の文法項目、例えば「やん」「ねん」などに対する理解度が比較的低い。

【キーワード】 関西方言、中国人留学生、方言接触、方言意識、方言理解

1. はじめに

日本で学ぶ留学生のうち、全国の各地域に滞在する留学生の占める割合は高い。日本学生支援機構（2021）によると、関東地方以外の留学生数は全体の49.5%を占め、総数の半分に近い。これらの留学生はその地域に滞在する限り、地域性を無視した言語生活は送れない（高木2002）。また、近年、関西方言がテレビ番組などを通じて全国に広がっている。そのため、関西在住の留学生は日常生活のみならず、テレビ番組などからのインプットも多く、方言は留学生が日本の地域、特に関西で生活する上で欠かせない要素であると考えられる。

そのような背景から、具体的に関西で生活している留学生たちはどのような言語生活を送っているのかという問いが生じた。そのため、本稿は関西に在住している中国人留学生を対象に、彼らが具体的にどのような場面でどのような関西方言に接触しているのか、また、どのようなことばを関西方言と認識し、またその意味をどのように捉えているかを調査して明らかにしたい。

2. 先行研究と問題のありか

彭（1988）は中国人向けの大阪方言会話のテキストである。その中で、中国人留学生が大阪ことばについてどのように考えているかを調査したアンケートの結果を紹介している。結果によれば、「大阪のことば（大阪方言を指す）を知らないと、相手の意思がわからず、生活に困る事があり、少し覚えておいたほうがいい」と答えた留学生は90%を占めている。また、「一番早く覚えた大阪ことばはなんでしょう」という質問に対しては、留学生は「ほ

んま」、「おおきに」、「しんどい」、「ぼちぼち」、「もうええわ」、「あかん」などをあげた人が多いという。さらに、アンケート調査で、大阪方言の語彙や表現をリストアップし、それぞれについて「知っている」「知らない」のいずれかを答えてもらう調査も行っている。その結果、「よっしゃ」、「えらいこっちゃ」、「せえへん」、「よう言わんわ」などが高順位の回答であった。なお、「どんなところで聞き覚えた大阪ことばが一番多いのか」という項目に対しては、大阪人との会話、テレビ、授業の順に回答が多いという。

上條(2000)は在日外国人留学生の方言理解について調査を行った。信州大学の外国人留学生を対象に、大学の所在地である長野県松本市で聞く方言について、自分の聞くものを回答する方式で調査を行った。その結果、周囲の日本人は、留学生に向かって方言を使用しており、留学生は方言を理解していることが分かった。留学生が日本での生活をしていくためには、方言をある程度理解することが必要であり、より効果的な方言指導を考えていくべきであると指摘している。

上で述べたように、彭(1988)は中国人留学生が大阪方言をどのように考えているのかを調査した。しかし、彭(1988)は30年ほど前のものであるため、関西方言の変容が進んでいる中で、現在関西に在住する中国人留学生が認識している方言は30年前と異なると考えられる。また、彭(1988)の調査は留学生にいくつかの方言を提示し、それらを知っているかどうかを尋ねる形式で行なわれたため、留学生が認識している方言を全部集めたとは言えないと考えられる。なお、上條(2000)は松本平方言について、当該地の留学生の認識を調査し、日本語教育における方言教育についての提言をした。一方、方言が社会的に力を持っている関西においては、留学生が日常生活においてどのような方言と接触し、認識・理解しているのかについての調査は見当たらない。そこで、本稿は関西に在住する留学生の関西方言に対する認識・理解がどのようにされているかや彼ら・彼女らを取り巻く言語環境がどのようになっているのかを明らかにしたい。

3. 調査概要

まず、調査対象に関しては、関西地域に在住する中国人留学生を対象とした。調査方法としては、対象者にGoogle Formを配り、記入してもらう形式をとった。アンケートの質問内容について、上條(2000)を参考にし、まずは対象者の基本情報を教えてもらった(質問(1))。そして、留学生がどのようなものを方言と認識しているのかを調査するために、彼らの知っている関西方言を自由記述方式で記入してもらった(質問(2))。さらに、留学生がどのように関西方言と接触しているのかを調査するために、回答した方言がそれぞれどこから知ったものかも合わせて尋ねた。具体的な質問項目は以下ようになる。

- (1) あなたの関西での滞在期間を教えてください。
- (2) あなたの知っている関西方言を教えてください。
- (2) で回答した各方言に対してさらにそれぞれ以下三つの質問を回答してもらう。
 - (3) 「知っている関西方言」についての質問：
 - ①それはどこでどういう人が言ったものですか。
 - ②それはあなたに向かって言ったものですか。

③その方言の意味を教えてください（分からない場合はそう記入してください）。

このような自由記述式の質問項目を設けるのは、留学生在が関西方言だと思っているものを全部集めるという目的がある。ただ、調査対象者の回答から彼らが知っている方言を全部収集できない可能性があり、関西方言だと自信を持って認識しているもののみが回答された可能性もある。しかし一方、留学生在にとって関西方言と言えどどのようなものが浮かぶのかが分かるだけではなく、関西方言と誤認されたものも収集できることから、自由記述式の質問項目を設けることにその意義があると考えられる。

4. 調査結果

本節において、調査結果を示す。まずは4.1で中国人留学生在がどのような場面で関西方言と接触しているのかの結果を見る。4.2においては、中国人留学生在によって関西方言と認識されている表現を概観し、その特徴について分析する。また、『全国方言辞典』（東條操編1951）、『日本国語大辞典第二版』（北原保雄2003）、『関西ことば辞典』（増井金典2018）を参照し、関西方言であるかどうかを判断した。

調査においては、29名の調査協力者の回答を収集したが、1名の調査協力者は関西での滞在歴がないため、分析対象から除外した。最終的に有効回答と認められたのは28名の調査協力者からの回答である。28名の調査協力者によって回答された延べ方言数は120項目であり、異なり方言数は44項目である。回答数が最も多い調査協力者は19項目を回答し、回答数をもっとも少ない人は1項目しか回答しなかった。

4.1. 中国人留学生在と関西方言の接触場面

関西地域の留学生在たちが普段どのように方言のインプットを受けているのかを知るために、回答された関西方言が対象者に向かって言ったものであるかどうかという質問を設けた（質問（3）の②）。結果、回答者に向かって言ったものが62項目であり、回答者以外の人に向かって言ったものが58項目であるので、両者に大差がないことがわかる。関西に在住する中国人留学生在が直接的なインプットからも間接的なインプットからも相当の量の関西方言と接触していることがわかる。

次に、具体的に回答者はそれぞれどのような場面や人物から関西方言を聞いたのか（質問（3）の①）に関しては、次の表1において、回答者の回答を「A. 大学」、「B. アルバイト」、「C. 関西人」、「D. 店」、「E. テレビ番組」、「F. 日本語の授業」、「G. 方言テキスト」、「H. 街の看板」の8つのカテゴリーに分類し、まとめた。各分類の中の回答の詳細は回答者の回答を直接引用したものである。表1からわかるように、中国人留学生在が関西方言を聞く場面は、主に「A. 大学」、「E. テレビ番組」、「B. アルバイト先」、「D. 店」などである。2節で述べたように、彭（1988）が実施した調査において、「どんなところで聞き覚えた大阪ことばが一番多いのか」という項目に対しては、大阪人との会話、テレビ、授業の順に回答が多い。30年ほど経った現在は、留学生的の方言と接触するルートが大きな変わりがないことがわかる。

また、留学生在に直接関西方言が使用される場面は、主に「A. 大学」、「B. アルバイト先」、「D. 店」の三つである。この三つの場面はいずれも留学生的の生活圏に関わっているものなの

表1 関西方言と接触した場面

場面	回答者に向かって		回答者以外の人に向かって		合計
A. 大学	先輩、研究室のメンバー、寮に住んでいる日本人の学生、先生など	23	ゼミ、オンライン授業の留学生、同じ研究室の留学生など	8	31
B. アルバイト先	先輩、お客さんなど	19	アルバイト先の人など	5	24
C. 関西人 ^{※1}	大阪人のおばあさん、おじいさん、駅内、知り合いの関西人など	13	関西人おじさん、知らない女子高生、どっかで耳にしたものなど	5	18
D. 店	お好み焼き屋のおばあさん、お餅屋のおばあさん、ラーメン屋、居酒屋の方、油そばの店の店主さん、メガネ屋のおじいさん、買い物など	7	喫茶店で耳にしたもの、ラーメン屋など	2	9
E. テレビ番組			バラエティ番組、関西出身のアイドルと司会、アニメのセリフ、ドラマ、『名探偵コナン』の「服部君」など	28	28
F. 日本語の授業			ネットの日本語授業の教師が大阪人	8 ^{※2}	8
G. 方言テキスト			大阪弁の教科書	1	1
H. 街の看板			京都の街での店の看板とポスター	1	1
合計	62		58		120

※1 特定の場所に言及していない回答を「関西人」というカテゴリーで括ることとした

※2 1名の調査協力者による回答

で、関西に在住する留学生は容易に関西方言と接触できることが分かる。特に、表1の「C. 関西人」、「D. 店」の分類にあった回答のように、「〇〇のおばあさん」、「〇〇のおじいさん」のような回答が多かったことから、留学生は方言を中年層・高年層が話すものと連想しやすい傾向が見られると同時に、大学以外の日常生活において関西の中年層・高年層のほうがより多く留学生に方言で話しかけている傾向も推察される。

また、間接的な関西方言のインプットに関しては、量がもっとも多いのはバラエティ番組などのテレビ番組からである。なお、今回の分析対象から除外した関西での滞在歴がない1名の調査協力者はアンケートで8つの関西方言を挙げ、いずれもバラエティ番組から知ったものであると回答した。このことから、関西という環境におらず、社会的なネットワークが形成されていなくても、留学生には関西方言と接触の機会があることがわかる。

さらに、「大阪弁の教科書」から関西方言を知ったと回答した調査協力者がいるということから、関西方言に興味を持っており、自ら積極的に関西方言を学びたい留学生もいることが分かる。なお、「看板」と回答した調査協力者は少ないが、1名いた。このことから、留学生のインプットには関西方言の音声的なインプット以外もあり得ることがわかる。また留学生が自分の学んだ日本語と異なる関西方言の表記にも気付いていることが分かる。

上で述べたように、関西に在住する留学生は容易に関西方言に触れることができる。また、関西在住でなくても、テレビ番組などで関西方言に触れる機会が多い。では、留学生はそれ

ほど頻回に関西方言と接触するなかで、一体どのようなものを関西方言と認識しており、それらの関西方言をどのように理解しているのだろうか。以下 4.2 でその調査結果を述べる。

4.2. 関西方言と認識されている表現の特徴

まずアンケートから収集した全ての回答を回答数順に次の表 2 に示す。なお表 2 には実際の関西方言ではなく、関西方言と誤認されているものも含まれている (表 3 も同じ)。

表 2 回答された関西方言の語句の概覧

回答された関西方言の語句	回答数
あかん	10
おおきに、ほんま	9
ちゃう	7
なんぼ	6
～へん、なんでやねん	5
おもしろい	4
ええ、めっちゃ	3
かまへん、しんどい、せや、なんでやね、めっちゃおもしろい、や	2
あほか、飴ちゃん、言わへん、いやや、うち、ええな、ええやん、えぐい/えぐ、おおきにありがとう、おきに、おこしやす、おかん、おにきに、おはよう (アクセントが違う)、おる、かまへんよ、来へん/けえへん、こないだ、これなんぼ、してもうた、してはる、死ぬかと思うてんねん、しはる、知らん、すんまへん、せーへん、せーやな、せーやろ、せやけど、～せんといて、せんといで、そうなんやん、そうやで、そやね/せやんな、ちっこい、ちゃうちゃう、ちゃうねん、ちゃうやんか、どないしたんや、なおしてください、直してもらいますか、何やってんねん、何ゆてんねん、なんでおまいは、なんぼですか、なんやねん、～ねん、放して、ほけ、ほなまた、はよーしーや、ほんで、ほんまに無理やわ、ほんまやねん、ほんなら、ほんまやで、むずい、めっちゃええよ/めっちゃええで、めっちゃおもしろいやん、もうかりまっか、やっぱし、やもんな、やんやん、やん/やんか、言うてや、分からん	1

表 2 から、「あかん」、「おおきに」、「ほんま」、「ちゃう」、「なんぼ」などの語が多く認識されていることがわかる。また、「なんでやねん」、「なんでやね」、「めっちゃおもしろい」などのようなフレーズごとに認識されているものも比較的多い。さらに、回答数が 1 である語句に一つの表現に複数の方言の語句や文法項目が入っているものも多く存在している。例えば「ええやん」に「ええ」と「やん」という 2 つの関西方言の要素が含まれている。

次に、どのような関西方言の語句と文法項目がより多く認識されているのかを見るために、表 2 でまとめられた回答を、『都道府県別全国方言辞典』(佐藤編 2010) の近畿地方の方言の部分を参考にし、関西方言の語彙・文法項目ごとに回答者の回答をまとめ直す。例えば、「ほんまやで」という一つの回答を、「ほんま」、「や」、「で」という三つの語・文法項目に分けてそれぞれ一つの方言形と集計する。集計した結果を以下の表 3 に示す。

表 3 の「割合」は「該当方言の回答者数」を「調査協力者の総人数」で割ることによって算出した。この「割合」を中国人留学生の関西方言に対する「認識度」とする。表 3 で示すように、認識度が最も高い語は「おおきに」、「ほんま」、断定助動詞「や」である。その次

に多いのは否定辞「へん」、「あかん」、「ちゃう」、「ねん」で、30%以上の認識度があることが分かる。「なんぼ」、「おもろい」、「めっちゃ」、「ええ」は20%以上である。

表3 認識されているすべての関西方言の語句と文法項目及びその回答数

認識されているすべての関西方言の語句と文法項目	回答数と割合	
おおきに、ほんま、や（断定助動詞）	12	43%
へん	11	39%
あかん、ちゃう、ねん	10	36%
なんぼ	8	29%
おもろい	7	25%
めっちゃ、ええ	6	21%
やん（か）	4	14%
しんどい、な	3	11%
せん、で、直す、はる、や（終助詞）	2	7%
あほ、飴ちゃん、えぐい・えぐ、うち、おかん、おこしやす、おはよう（アクセントが違う）、おる、こないだ、してもうた、ちっこい、どない、なんでおまいは、はよう、放して、ほなまた、ほんで、ほんなら、ぼけ、むずい、もうかりまっか、やっぱし、やんやん、ゆうて、ん	1	4%

4.3. 関西方言の理解度

4.2節でどのような語句や文法項目を含むものが「関西方言」として回答されているかをみてきたが、本節ではそれぞれの語句や文法項目が正しく認識されているかどうか、つまり中国人留学生の関西方言に対する理解度について分析を行う。関西方言の意味に関する回答のうち、理解していることを示している回答が105例、完全に理解しているとは言えない回答が15例である。これは全体的に中国人留学生は関西方言と認識しているものに対してその意味も正しく捉えていることを示している。しかし一方で、回答された意味と関西方言の意味にずれのあるものも観察された。さらに、関西方言と誤認されているものも見られた。

以下4.3.1～4.3.3で順次にそれぞれ理解度が高い関西方言（意味が正しく回答されているもの）、理解度が低い関西方言（完全に理解しているとは言えないもの）、誤認されている関西方言について分析する。

4.3.1. 理解度が高い関西方言

本節で関西方言と正しく認識され、かつその意味の回答も正確であるものに対して、回答数が多い順から、その方言がどのような場面で聞いたものなのかも含めて分析を行う。まず表4-1で回答数が最も多い（12回）「おおきに」、「ほんま」の詳細を見たい。

まず、表4-1からわかるように、「おおきに」と回答した調査協力者は、全員がその意味を「ありがとう」と認識していることがわかる。また、その方言はどこで聞いたのかという質問において、「先生」、「ドラマ」と回答した2名を除き、残りの回答者はお好み焼き屋のおばあさん、ラーメン屋の店主、居酒屋の人などのような店の店員などから聞いたと回答し

関西在住中国人留学生在が接触する方言

表 4-1 正確な意味の回答数が 12 である回答

回答された方言	他の回答	意味	場面
おおきに	おにきに、おきに (2) ※	ありがとう	店 (6)、関西人、テレビ番組、大学
ほんま	ほんまに、ほんまやで、 ほんまに無理やわ、 ほんまやねん	本当？マジカ？ 本当ですよ！ 本当に	大学 (3)、テレビ番組 (3) 関西人 (2)、日本語の授業

※各回答の後ろの括弧にある数字はその語・意味・場面の出現回数を表す。数字をつけない語・意味・場面の出現回数は1回である。以下も同じ。

た。「おおきに」は関西地域における店の挨拶表現として留学生在が頻繁に接触している表現であることがわかる。しかし、回答の中に、「おおきに」に相当すると思われる「おにきに」、「おきに」のような回答も三つ観察された。意味が「ありがとう」と回答されているので、これらの表現は「おおきに」の聞き間違いや入力間違いである可能性があると考えられる。このような回答から、留学生在は日常生活で「おおきに」をよく耳にする一方、その確実な発音を把握していないケースもあると考えられる。

次に、「ほんま」と回答した人も 12 名であり、全員がその意味を「本当」と認識している。「ほんま」は留学生にとって認識度が高い方言であることが分かる。彭 (1988) においても、留学生へのアンケート調査で一番早く覚えた大阪ことばはなんなのかという項目に、「ほんま」、「おおきに」などが挙げられていた。「ほんま」と「おおきに」は彭 (1988) の調査から 30 年ほど経った現在も留学生にとって馴染みのある関西方言であることが分かる。

続いて、表 4-2 で回答数が 11、9、8 の詳細を見る。「～へん」や「へん」が入っている動詞否定形を挙げた回答者は 11 名いた。挙げられた動詞否定形には「来へん/けえへん」、「せえへん」、「かまへん」、「言わへん」、「食べへん」がある。そのうち、「かまへん」と回答した人は 4 名いた。

「あかん」、「ちゃう」の意味を正しく回答した回答者はそれぞれ 9 名いた。「あかん」に関しては、その意味について、「だめ」と回答した人が 6 名、「だめだよ」、「してはいけない」、「無理」と回答した人がそれぞれ 1 名いた。「だめだよ」、「してはいけない」、「無理」

表 4-2 回答数が 11、9、8 である回答

回答数	回答された方言	他の回答	意味	場面
11	へん	かまへん (4)、 すんまへん、 来へん/けえへん、 せえへん、 言わへん、食べへん	ない/ません (11)	店 (6)、関西人 テレビ番組、大学
9	あかん	-	だめ (6)、だめだよ、 してはいけない、無理	関西人 (3) テレビ番組 (3) 大学 (2)、アルバイト先
	ちゃう	ちゃうやんか、 ちゃうねん、 ちゃうちゃう	違う (7)、～ではない/ じゃない (2)、犬の種類	関西人 (3)、大学 (3) アルバイト先 (2) テレビ番組 (2)
8	なんぼ	-	いくら (8)	アルバイト先 (4) 関西人、テレビ番組、 大学、日本語の授業

は「だめ」の意味に近いが、それらのニュアンスは「だめ」よりもさらに強いと考えられる。留学生の中に、「あかん」を強い否定を表す表現と認識されている傾向が見られると言える。

次に、「ちゃう」の回答者においても、「ちゃう」を「違う」の意味として正しく捉えている人がほとんどである。しかし、そのうち、「ちゃうちゃう」と挙げた回答者はその意味について「違う、犬の種類」という二つの回答をした。「ちゃうちゃう」の犬の品種としての意味は関西方言とは言えない。この二つの意味を持つ表現「ちゃうちゃう」は関西人による「あれちゃうちゃうちゃうん？」のような言葉遊びによく出るものなので、回答者はそれをきっかけに「ちゃうちゃう」を知り、関西方言と捉えたのではないかと考えられる。

続いて、「なんぼ」と回答した人は8名いた。そのうち、アルバイト先で関西人の客から聞いたと回答した人は4名いた。このことから、「なんぼ」は留学生がアルバイト先で客から頻繁に耳にする表現ということを示している。

続いて、表4-3で回答数が5、6、7である回答の詳細を見る。「や」及び「や」が含まれる語句が関西方言として挙げられた回答数は12（表3を参照）であるが、正確に「や」の意味を「だ」として捉えている回答者は7名いた。「ねん」とそれに関する表現を関西方言と認識した回答者は10名（表3を参照）であるが、その意味を正しく捉えている回答者は6名である。このことから、留学生の「や」、「ねん」に対する認識度は高いが、理解度が低いことがわかる。「ねん」に関する回答のうち、「なんでやねん」の回答者は4名いたので、留学生は「なんでやねん」を一つの定型表現として覚えている傾向がみられる。

また、「おもしろい」、「めっちゃ」、「ええ」を関西方言と認識している人はその意味も正しく捉えているため、中国人留学生にとって理解度が高い方言と考えられる。

表4-3 回答数が5、6、7である回答

回答数	回答された方言	他の回答	意味	場面	
7	おもしろい	めっちゃおもしろい、 めっちゃおもしろいやん	面白い (7)	大学 (3) アルバイト先 (2)	
		やもんな ほんまに無理やわ、 そやね、 ほんまやねん そうやで ほんまやで せーやな、 せやけど	だもんな 本当に無理だよ そうだね 本当だよ そうだよ 本当ですよ そうだな そうなんですけど	テレビ番組 (3) 大学 (3) アルバイト先 (2) 関西人 (2) 日本語の授業	
	6	ねん	なんでやねん (3)	どうして (2)、なんでだろう・なぜだろう	アルバイト先 (2)、 大学 (2)
			死ぬかと思うんてんねん	死ぬかと思うんだのよ	テレビ番組 (1)
			ちゃうねん	違うよ	日本語の授業
			何ゆてんねん	何を言ってますか	
	5	めっちゃ	めっちゃおもしろい めっちゃええよ めっちゃおもしろいやん	とても (2) 非常に・とても (2) すごい	関西人、大学 アルバイト先 日本語の授業
ええな、ええやん めっちゃええよ			いい (5)	大学 (2)、店、テレビ 番組、日本語の授業	

関西在住中国人留学生が接触する方言

続いて、回答数が2、3の回答（表4-4）および回答数が1の回答（表4-5）を示す。まず、表4-4が示しているように、「やん（か）」と「な」の意味を正しく捉えている回答者は3名いた。『関西弁事典』（真田監修2018）によると、「やんか」は「～じゃないか」の意味に相当するという。1名の調査協力者は「じゃん」と回答し、意味を正しく理解していると言える。その他、「はる」、「せん」、「直す」、「で」、「ゆう」を関西方言と認識している留学生はそれぞれ2名いた。そのうち、「ゆうて」は「言って」のウ音便である。ウ音便は関西

表4-4 回答数が2、3である回答

回答数	方言	他の回答	意味	場面
3	な	やまんな、ええな、せやな	ね (3)	アルバイト先、大学、店
2	やん(か)	ええやん	いいじゃん	関西人、テレビ番組
		ちゃうやんか	違うだろう※	
	はる	してはる、しはる	される (2)	テレビ番組、大学
	せん	せんといて、せんといで	しないでくれ、しないで	テレビ番組、アルバイト先
	直す	直してもらいますか、 なおしてください	戻してもらいますか 戻して	アルバイト先、大学
	で	そうやで、ほんまやで	そうだよ、 信じてや・本当ですよ！	テレビ番組、日本語の授業
ゆうて	ゆうて、ゆうてや	言って、言ってよ	テレビ番組	

※「だろう」「やんか」には確認要求の意味用法があるため、意味を正しく捉えていると判断した。

表4-5 回答数が1である回答

方言	意味	場面
しんどい	つらい	関西人
あほ	ばか	テレビ番組
飴ちゃん	キャンディ	関西人
えぐい・えぐ	きつい・やばい	アルバイト先
うち	第一人称である私、自分	アルバイト先
おかん	お母さん	アルバイト先
おこしやす	わざわざ来ていただいて ありがとうございます	京都の街で、店の看板、 ポスターなど
おはよう（アクセントが違う）	朝の挨拶	大学
おる	いるの尊敬語	アルバイト先
こないだ	この間	関西人
してもうた	してしまった	テレビ番組
ちっこい	小さい	大学
どないしたんや	どうしたの	テレビ番組
はよう	早く	テレビ番組
ほなまた	ではまた	関西人
ほんで	それで	大学
ほんなら	そうしたら	アルバイト先
ぼけ	ばか	テレビ番組
むずい	難しい	アルバイト先
もうかりまっか	営業の状況はどうですか	方言テキスト
ゆうてや	ゆうてよ	テレビ番組
やっぱし	やっぱり	店
ゆうて	言って	テレビ番組
ゆうてや※	言ってよ	テレビ番組
ん（わからん・知らん）	ない	大学

※ウ音便以外に、終助詞「や」も認識されているようである。

方言の音声の特徴として留学生に認識されていることがわかる。

続いて、回答された数が1である方言（表 4-5）のうち、「おはよう」の関西のアクセントが違くと回答した調査協力者がいた。「おはよう」の京阪式アクセントはおは[よ]うというアクセント型であり、東京アクセントはお[は]ようと平板型であるので、関西での「おはよう」のアクセントが東京式アクセントと違うことがわかる。このことから、関西方言と標準語のアクセント面での違いも認識している留学生がいることがわかる。

また、「ほな」、「ほんで」、「ほんなら」などの接続詞を認識している調査協力者も3名いた。関西で特有の接続詞が存在することを認識している留学生もいることがわかる。

4.3.2. 理解度が低い関西方言

4.3.1 節で理解度が高い関西方言をみてきたが、続いて本節で理解度が低い関西方言、つまり関西方言として認識されているが、その意味を完全に理解していない関西方言について分析する。それらの回答を次の表5に示す。

「めっちゃおもしろいやん」→「とても面白いね」、「ほんまやねん」→「本当だよね」、「しんどい」→「疲れた」のような回答は、留学生は文脈的にはそれらの語句の意味を理解していると言える。しかし、文法的意味が回答の中に欠如しており、表現を完全に理解しているとまでは言えないと思われる。また、「ねん」、「や」が関西方言として挙げられたが、それについて「ただの語尾」、「語尾、意味がわからない」という回答があるため、関西方言の文法を正しく理解・使用するに至るまでには体系的な学習が必要であると考えられる。

また、「めっちゃおもしろい」→「本当に面白い」のような回答は、回答者が「めっちゃ」を十分に理解していないように見えるが、「めっちゃ」を程度を表す語として認識していることが窺われる。なお、『関西ことば辞典』（増井 2018）において、「やんやん」は「やいの

表5 理解度が低い関西方言

回答された方言		回答された意味
やん	めっちゃおもしろいやん	とても面白いね
	そうなんやん	そうですね
ねん	ねん	ただの語尾
	ほんまやねん	本当だよね
	なんでやねん	なんだそれ
	なんやねん	なんで?なぜなの?
	やってんねん	何をしますか
や		語尾、意味がわからない
いやや		意味はいやだと思う
はよーしーや		早くしなさい
なんでやね		なにそれ
あかん		無理
しんどい		疲れた
めっちゃおもしろい		本当に面白い
やんやん		うるさく喋る

やいの」と説明し、何回も、また、諸方からせきたてるようすの意としている。それに対して、調査協力者が「やんやん」を「うるさく喋る」と捉えている。関西出身のタレントから聞いたものと回答されたので、調査協力者はテレビ番組で「やんやん言うなよ」のような発話に触れ、その意味をうるさく話さないよう命令していると理解したと考えられる。

4.3.3. 誤認されている関西方言

留学生在が回答した関西方言には「なんでおまいは」のような関西方言ではないものが観察された。まず、「なんでおまいは」に関しては、「なんでおまえは」の書き間違いだと考えられる。この表現に関しては「どこでどのような人が言ったものか」という質問に、回答者は「研究室の大阪出身の友達」と回答した。そのため、回答者が「なんでおまいは」を方言だと認識している理由は、普段はあまり聞けないぞんざいな表現を、関西出身の友達が言っているため、それが関西方言だと思い込んだのではないかと考えられる。また、その回答者は「なんでおまいは」の意味を「何をしますか」という意味で理解している。つまり、「なんでおまいは」が普段使用している「何をしますか」という表現と大きく異なることも、回答者がそれを方言と思い込んでいる理由の一つであると考えられる。

以上の誤認された関西方言の例から、留学生在は日常の中でまれに耳にするぞんざいな表現、すでに習得した標準語の形式と異なる表現を方言と認識している傾向が窺われる。

5. まとめと今後の課題

今回の調査で分かったことを以下の2点にまとめる。

- (1) 関西に在住する留学生在は容易に関西方言に触れられる。方言と接触する場面に関しては、主に大学、テレビ番組、店、アルバイト先が挙げられる。日常生活において、関西人は留学生に向かっても関西方言を話している。また、関西に在住する留学生在以外にも、テレビ番組などを通じて関西方言に触れる機会は多い。
- (2) 中国人留学生在にとって認識度が高い関西方言には「おおきに」、「ほんま」、「へん」、「あかん」、「ちゃう」、「ねん」等がある。その理由はこれらの表現は日常生活で頻繁に接触できるからと考えられる。誤認している語としては、日常生活でまれに耳にする、かつぞんざいな言葉を関西方言だと取り違えて認識している可能性がある。留学生在は接触している方言に対してその意味を全部正しく捉えているわけではない。特に今回の調査では、特定の文法項目「やん」「ねん」などに対する理解度が比較的低い。そのため、留学生在が正しく方言を理解・使用できるように、ふさわしい方言教育が実施されることが重要であると考えられる。

今回は中国人留学生在の関西方言との接触、関西方言に対する認識・理解を調査するために、アンケート調査を実施した。今後の課題として、アンケート調査にインタビュー調査も組み合わせ、留学生在が無意識に習得する関西方言についても尋ね、また回答された各方言に対する受容意識などに対しても調査・分析を行いたい。

【参考文献】

- 上條厚(2000)「松本地区外国人留学生在が認識する方言」『信州大学留学生センター紀要』1, pp.43-49, 信州大学留学生センター.
- 高木裕子(2002)「第3章 地域語話者と定住外国人との係わり」『定住型外国人を対象にした“地域共通語”教材開発に関する研究』平成10年度～平成12年度科学研究費補助金基盤研究.
- 日本学生支援機構(2021)『2021(令和3)年度外国人留学生在籍状況調査結果』独立行政法人日本学生支援機構(JASSO).
https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2022/03/date2021z.pdf (2023年2月3日アクセス)
- 彭飛(1988)『大阪ことばと中国語』東方書店.

【参考資料】

- 北原保雄(2003)『日本国語大辞典第二版』小学館.
- 佐藤亮一編(2010)『都道府県別全国方言辞典』三省堂.
- 真田信治監修(2018)『関西弁事典』ひつじ書房.
- 東條操編(1951)『全国方言辞典』東京堂出版.
- 増井金典(2018)『関西ことば辞典』ミネルヴァ書房.

いん き (大阪大学大学院生)